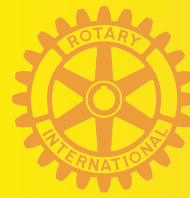


2019-20 54th Rotary クラブ週報
 東京城東ロータリークラブ



2020. 1. 20 第2482回例会

会長テーマ 秋山恭一郎

「仲間を増やそう
 そして魅力有るクラブに」

国際ロータリー 会長
 マーク・ダニエル・マローニー
 第2580地区 ガバナー
 新本博司
 第2580地区 幹事
 新垣淑典
 (当クラブ担当)
 ガバナー補佐：齊藤榮一
 東分区幹事：上條隆志



例会日：毎週月曜日 12:30 ~ 13:30
 例会場：東武ホテルレバント東京
 〒130-0013 墨田区錦糸 1-2-2 Tel:03-5611-5511
 事務局：〒130-0013 墨田区錦糸 1-1-5 Aビル
 Tel:03-5637-4605 Fax:03-5637-4611
 E-mail : jyoto@club.email.ne.jp

会長：秋山恭一郎 副会長：山田 昇
 幹事：今井 邦彦 副幹事：杉田 敬光
 会報委員長：篠田 秀樹



2020/1/9(木)
 「新年初例会」

2020年1月9日 例会報告

点 鐘	
ロータリーソング	『君が代・奉仕の理想』
ゲストスピーカー	0名
ゲスト及びビジター	1名
会員出席状況	41名中35名(出席率85.37%)
前々回訂正出席率	100%



「亀戸天神社 葛西囃子 天神会」

- 1月の受付当番 -
 田島君/根本君/秦君

本日の卓話

「深刻化する人不足の中での
 経営・マネジメント」

ボルボ・カー・ジャパン
 代表取締役社長 木村 隆之 氏

次回の卓話

「第3回クラブフォーラム
 ほめ達！で人も組織も活性化！」

ほめ達！特別認定講師
 川端 勢至 氏

2019-20年度 東京城東ロータリークラブ 第7回理事役員会

2020年1月9日(月) 東武ホテルレバント東京

- 理事 秋山恭一郎(会長)○
山田 昇(副会長・クラブ奉仕)○
會田 博(職業奉仕)○
上條隆志(社会奉仕)○
宇都宮秀雄(国際奉仕)○
村上愼吾(青少年奉仕)○
岡本昌三(クラブ資料)○
若井一郎(直前会長)×
池永憲明(親睦活動)○
今井邦彦(幹事)○
- 役員 杉田敬光(副幹事)○
根本弘道(会計)○
奈良康司(S A A)○

《議題》

1. 下半期を迎えて
⇒秋山会長から上半期を大過なく終えられたことへのお礼と下半期への協力依頼
2. 月次会計報告
⇒ 11月分承認、上半期分は会計監査後報告
3. 下半期会費請求について
⇒ 承認
4. 新年初例会 1/9 (木)
⇒ 式次第の確認
5. 第3回クラブフォーラム(職業奉仕)
1/27 (月) 13:00~
⇒現時点で18名の参加申込み
30名まで増やしたいので、会員に対して再度案内を通知する
6. 委員会報告
 - ①親睦活動委員会
 - ・親睦旅行について
2/12 (水) ~15 (土)
日程、観光先、食事の確認
 - ・親睦家族会報告 2019/12/7 (土)
会計報告 ⇒ 承認
 - ・第2回ホームミーティング(2月開催)
近々案内をする予定

(右上に続く)

②米山奨学委員会

- ・米山記念館訪問ツアー 4/7 (火)
バスは予約済み
昼食をどのようにするかが課題

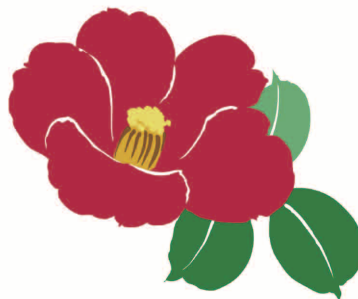
7. その他

- ①事務局パソコン買い替えについて
原案どおり承認
- ②米山奨学生カウンセラーの依頼について
奨学生を受け入れるかどうかから再検討する

8. 次回開催

2月3日(月) 11:30~

2020年1月9日(木) 「新年初例会」



世界中で活躍する「世界を変える行動人」

エルサルバドル

2016年の医療費支出一人あたりの世界平均は1,026ドル、エルサルバドルは293ドル。

サンタアナ・ロータリークラブ（エルサルバドル）は、医師や歯科医、看護師、そして米国のロータリアンからの協力を得て、5日間にわたる医療プロジェクトを実施しました。エルサルバドルで2番目に人口が多いサンタアナの近郊で4,000人以上に無料で診察を提供しました。6月30日～7月4日、エルサルバドルと米国のボランティアが一般内科、小児科、循環器科、精神科、歯科、眼科の診察を行い、必要に応じて、薬や眼鏡、紹介状も提供しました。この地域の市長たちが患者の移動手段を手配し、エルサルバドルの第2歩兵旅団が資材移動などを支援しました。

スウェーデン

エクササイズと環境問題を組み合わせるといふ流行に乗って、ストックホルムインターナショナル・ロータリークラブの会員15名とその家族5名がロングホルメン島に集まり、運動を兼ねた公園清掃を行いました。4月に行われた「プロッガ」（スウェーデン語のプロッカ「拾う」とジョッガ「ジョギングする」の造語）では、1時間に14袋分のゴミが集められたと、クラブ会員のアンソニー・ピアースさんは言います。「日に日に街や森にゴミがたまっていくので、どうにかしなければなりません」とピアースさん。プロッガの創始者がクラブを訪問した2018年、クラブはプロッガイイベントを立ち上げました。

ハンガリー

ブダペストセンター・ロータリークラブは、脊髄移植を受ける子どもたちへの支援を長年行っています。2015年以来、同クラブは業務用乾燥機、コンピューター11台などの機器や、Déméter House再建の資金を一部提供してきました。ブダペストのSzent László Hospitalの患者や付添人のための宿泊施設であるDéméter Houseには、年に40ほどの家族が宿泊します。若い患者が治療を受ける期間は平均して1カ月以上。

ブダペストセンター・ロータリークラブの会員

たちはDéméter Foundationと連携して、子どもたちのためにハロウィンパーティーやイースターエッグハントなどのイベントを催しました。

米国

サミットカウンティ・ロータリークラブ（コロラド州プリスコ）は毎週5ドルのラッフルくじを販売しています。当選者が手にするのは、その週のくじ売り上げ総額の3分の1。ほかの3分の1はクラブが毎年受け入れている留学生2名が行う米国南西部3週間の旅の資金に充てられ、残りの3分の1は「大当たり」に積み立てられます。トランプのデッキから当選者がスペードのエースを引き当てた場合のみ出される賞金で、毎週、カードを引くたびにデッキの枚数が減っていきます。大当たりが1年近く出ずに賞金が7,000ドルという史上最高額になった週、ボブ・アシュリーさんがエースを引き当てました。

この大当たりの1カ月後、慈善プロジェクト2件に1,000ドルずつ賞金から寄付したことをアシュリーさんは公表しました。また、50ドル札の入った封筒100通をクラブ会員に贈り、いつもとは違うところに寄付するように指示しました。これにインスピレーションを受けた会員たちは、アシュリーさんの50ドルに自腹で50ドルを上乗せし、さまざまな目的のために寄付することを誓いました。「『上乗せしようじゃないか』というのが暗黙の了解になったんです」とクラブ会員のステュ・ダーンリーさん。「夢のような展開でした。こんな素晴らしいことが自分のクラブで起こるなんて」。二倍になった寄付金は、海の清掃から、インドのトラ保護、メジナ虫駆除、スキーリゾートで有名なサミット郡での捜索救助活動など、さまざまな慈善活動に充てられました。



写真提供：サミットカウンティ・ロータリークラブ

— BRAD WEBBER